

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	50 熊本駅周辺地域の都市機能強化の推進		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)	交付対象	熊本県
計画の目標			

J R鹿児島本線及び豊肥本線を高架化することにより、交通渋滞の原因となっている踏切を除却するとともに、鉄道により分断された東西市街地の一体化を図り熊本駅周辺地域の都市機能強化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

熊本駅周辺地域を分断している鹿児島本線6.1km、豊肥本線1kmを高架化することにより踏切15箇所を除却する。

定量的指標の定義及び算定式

- ① 計画区間のうち、鉄道高架により東西市街地の一体的整備が可能となる区間を分断解消率で表す。
 (分断解消率) = (高架完了延長) ÷ (高架計画延長) × 100
- ② 鉄道高架により除却した踏切数
 (踏切除却数) = (既除却踏切数) + (除却踏切数)
- ③

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
0%	56%	100%	
0箇所	13箇所	15箇所	

全体事業費	合計 (A+B+C)	17,106百万円	A	16,626百万円	B	0百万円	C	480百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.8%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	------	---	--------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	熊本県において評価を実施	事後評価の実施時期	平成30年9月
		公表の方法	熊本県ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
50-A-1	街路	一般	熊本県	直接	熊本県	S街路	改築	J R鹿児島本線外1線	連続立体 L=7.10km	熊本市						16,626	
合計											16,626						

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
50-C-1	施設整備	一般	熊本県	直接	熊本県	調査	高架下利活用調査	高架下利活用調査	熊本市						10	
50-C-2	施設整備	一般	熊本県	直接	熊本県	駅周辺整備	熊本駅周辺高質空間形成事業	駅舎・駅周辺景観整備	熊本市						470	
合計											480					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
50-C-1	在来線高架化にあわせ、高架下空間の利活用計画に関する調査や計画検討を行い、高架下空間への公共施設等の誘導を行い都市機能強化の向上を図る。	
50-C-2	J R鹿児島本線外1線(50-A-1)により整備される熊本駅舎や上熊本駅舎において、防風機能等を有す施設を一体的に整備し、駅舎の機能性、利便性の向上を図ることで、交通結節点としての拠点性を高め、また、駅周辺を高質な都市空間として創出することにより、賑わいが生まれ、東西市街地の一体的な発展を助長させ、都市機能強化を一層高めることができる。また、併せて駅利用者の利便性、快適性が向上することで、公共交通機関の利用転換を図り、周辺道路の交通渋滞の緩和効果も見込める。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架化により踏切が除却され、最大600mあった踏切による渋滞が解消された。 ・鉄道高架化により新たに生み出された高架下空間の利活用が可能となり、一体的なまちづくりを促進。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① (鉄道による分 断解消率)	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標② (除却踏切数)	最終目標値	15箇所	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	15箇所		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架化事業の進捗に伴い、熊本駅周辺の地価上昇・昼間夜間人口の増加等のストック効果が発現 			
3. 特記事項 (今後の方針等)					
平成27年3月に一部区間の高架切替を完了させ、平成30年3月に残る区間の高架切替を完了させた。これにより、平成29年度末をもって、全線高架切替が完了した。					